

国民年金第3号被保険者該当（遡及）申立書

①第3号被保険者 (申立者)	基礎年金番号	—		
	氏名		生年月日	
	住所			
	職業		収入(年間推計)	
②配偶者	基礎年金番号	—		
	氏名		生年月日	
	住所(別居の場合)		勤務先名称	
③第3号該当年月日	昭和・平成・令和 年 月 日			
④被扶養者となった理由(該当する箇所を○で囲んでください。)	1.婚姻(昭和・平成・令和 年 月 日)			
	2.退職(昭和・平成・令和 年 月 日)*事業所名称()			
	3.給付金の受給終了(失業給付・出産(傷病)手当金)			
	受給期間(年 月 日～ 年 月 日 日額 円)			
	4.収入の減少			
5.その他()				
③・④の確認書類の添付	有 (戸籍 ・ 退職証明 ・ 課税(非課税)証明書 ・ その他) / 無			
⑤該当年月日から届出日までの扶養の状態 *事業主・民生委員などの第三者の状況確認 ・申立についての確認書類の添付が出来ない場合 ・申立同意について第三者の確認が可能な場合など	●(年 月 日～ 年 月 日)の期間については、 届出が遅れましたが(無職無収入・月額収入 円) であり、事実上配偶者に扶養されていたことを申し立てます。 ●上記の申立期間において、申立者は配偶者に生計維持されていることについて 状況を確認いたしました。(控除対象配偶者である。) 令和 年 月 日 住所 氏名 印			
	ア.健康保険で扶養家族として認定されていたので、自分で第3号の手続きが必要ないと誤認していた。 イ.当時パート等として働いていた勤務先で、厚生年金等に参加しているとは知らず、第3号の資格が継続していると思っていた。 ウ.配偶者の転職、退職の際、自分の年金に関する届出が必要であると知らなかった。 エ.その他(具体的に記入して下さい。)			
⑥届出が遅延した理由(該当する箇所を○で囲んでください。)				

上記のとおり相違ないことを申立てます。

申立(届出)年月日

令和 年 月 日

申立者氏名(第3号被保険者)

日本年金機構理事長 殿

印

* 押印は本人が署名(自署)する場合は必要ありません。